

みずほCustomer Desk Report 2018/10/04号(As of 2018/10/03)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	113.57	1.1551	131.18	1.2980	0.7187
SYD-NY High	114.54	1.1594	131.98	1.3023	0.7197
SYD-NY Low	113.53	1.1465	130.98	1.2925	0.7101
NY 5:00 PM	114.53	1.1477	131.41	1.2940	0.7101
NY DOW	26,828.39	54.45	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	8,025.09	25.54	日本10年債	0.1400	2.00bp
S&P	2,925.51	2.08	米国2年債	2.8740	6.12bp
日経平均	24110.96	▲159.66	米国5年債	3.0407	9.20bp
TOPIX	1802.73	▲21.30	米国10年債	3.1804	12.00bp
シカゴ日経先物	24,310.00	55.00	独10年債	0.4740	5.30bp
ロンドンFT	7,510.28	35.73	英10年債	1.5745	4.80bp
DAX	-	-	豪10年債	2.6255	▲5.70bp
ハンセン指数	27,091.26	▲35.12	USDJPY 1M Vol	6.55	0.20%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	7.04	0.12%
NY金	1,202.90	▲4.10	USDJPY 6M Vol	7.61	0.19%
WTI	76.41	1.18	USDJPY 1M 25RR	-0.49	Yen Call Over
CRB指数	201.23	1.26	EURJPY 3M Vol	8.89	0.06%
ドルインデックス	95.76	0.25	EURJPY 6M Vol	9.30	0.15%

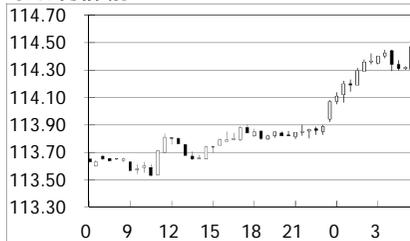
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月3日	17:30	英 マークイットPMI(サービス業/コンボジット)・確報	9月 53.9/54.1	54.0/53.9
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	8月 -0.2%	0.2%
	19:30	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	「金融政策スタンスは依然としてやや緩和的」	
	21:15	米 ADP雇用統計	9月 230K	184K
	22:45	米 マークイットPMI(サービス業/コンボジット)・確報	9月 53.5/53.9	53.0/-
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	9月 61.6	58.0
10月4日	03:15	米 メスター・クレーブランド連銀総裁 講演	「ある一日の金利の動きは心配していない」	
	05:00	米 パウエルFRB議長 講演	「われわれは中立金利には程遠い」	

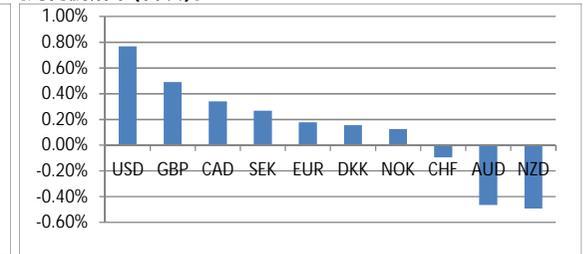
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月4日	10:30	豪 貿易収支	8月 A\$1450M	A\$1551M
	16:30	独 マークイット建設業PMI	9月 -	51.5
	21:30	米 新規失業保険申請件数	29-Sep 215K	214K
	22:15	米 クォールズFRB副議長 講演	-	-
	23:00	米 耐久財受注(前月比)/同(除く輸送用機器・前月比)・確報	8月 4.5%/-	4.5%/0.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.00-115.20	1.1400-1.1520	130.80-132.20

【マーケットインプレッション】

昨日はイタリア財政懸念が後退したことや米指標が予想対比良好な結果となる中、米10年債利回りは3.18%まで上昇し、ドル円は114.54円まで底堅く推移した。本日のドル円は115円を試す展開と予想する。米経済が非常に好調であることに加え、ダウ工業株平均株価が史上最高値を更新する中、リスクオンの流れは継続すると予想する。また、米30年債利回りはレジスタンスとなっていた3.25%を超えて大きく上昇し、パウエルFRB議長が中立金利の水準を超えて利上げを進める可能性に言及したことで米債利回りは引き続き上昇する可能性が高いだろう。米債利回りの上昇からドル買いの流れとなることでドル円は心理的な節目である115円を試す展開になる。

東京	東京時間のドル円は113.57レベルでオープン。前日のリスクオフの流れを引き継ぎ上値の重い推移が続く中、一時113.53まで下落。しかし、「イタリアは2021年に財政赤字の対GDP比を2%まで圧縮することを指す」と報じられたことをきっかけにリスクオフの巻き戻しの動きが強まるとドル円は113.83まで上昇。その後は目立った材料のない中、上昇幅を削る局面も見られたが、引けにかけては再び買い戻され113.80レベルで海外へ渡った。ユーロドルは1.1551レベルでオープン。イタリア財政懸念を背景に上値の重い推移が続いたが、イタリアが財政赤字圧縮を目指すとの報道を受けてショートカバーが進み一時1.1594まで上昇。1.15台後半での底堅い推移が続く。1.1579レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.80レベルでオープン。特段材料がない中終日狭いレンジで推移が継続。113.84レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1579レベルでオープン。イタリア財政赤字削減を目指すとの報道はあったものの懸念を払拭するには到らず、それまでの上昇幅をじりじりと削る展開となった。1.1538レベルでNYに渡った。(ロンドン17:30)
ニューヨーク	ドル円は113.85レベルでNYオープン。朝方は米9月ADP雇用統計が予想を上回り、金曜日に発表される米9月雇用統計に対する期待が高まる中、やや下振れすると予想されていた米9月ISM非製造業景況指数が、構成指数の景況指数や雇用などが前回から改善し予想を上回ったことからドル買いが優勢となり、ドル円は月曜日に付けた高値114.06を抜け、114.13まで上昇する。その後米金利が上昇する中、マスター・クレーブランド連銀総裁(カガ派/投票権有)が「米国と他国の経済の顕著な相違は注視する必要がある」との見解を示す一方、「ある一日の金利の動きは心配していない。市場は変動するものだ」と発言し米金利がここ最近のレンジを抜ける展開に、ドル円は114.44まで上昇する。終盤に掛けては、再びドル買いが優勢となり一時114.54まで上昇し、114.53レベルでクローズした。一方、前述のイタリアの財政赤字に関するニュースに海外市場で1.1594まで買い戻されたユーロドルは、イタリア財政に対する懸念は払拭できず、再び下落し1.1538レベルでNYオープン。朝方は米ADP雇用統計、ISM非製造業景況指数結果を受けたドル買いに1.1516まで下落する。午後米金利が上昇する中、ユーロの上値は重く、終盤に掛けて1.1465まで下落し、1.1477でクローズした。(NY15:30)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 田家・森谷